



# 2007年の新春を迎えて

## 八峰町長 加藤 和夫

明けましておめでとうございます。町民の皆様には、心も新たに、新年をスタートされたことと思います。

昨年3月27日、約半世紀に亘る二つの町村の歴史に幕を閉じ、新町「八峰町」が誕生してから今年には二年目を迎えることとなります。徐々にはありますが、八峰町民としての意識も芽生えてきており、各種団体や組織も殆ど「八峰町」を冠したものに生まれ変わりました。これから一年一年、全町民と力を合せて、新しい歴史を創っていくことを、年頭にあたり決意しているところでございます。

さて、昨年は、長年に亘り村民のよりどころとしてきた峰浜庁舎が全焼した他、尊い人命を失ったり、周辺への類焼という予期せぬ災害に遭遇し、町民の皆様には、大変ご心配やご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。今年は、何よりこの火災被害を一日も早く復旧させることが一番の課題であります。分散し

ている役場機能の回復、将来に向けた組織・人員の効率化を図ることはもとより町民融和のシンボルとして新庁舎建設を推進したいと考えております。

二つ目の課題は、農林漁業の振興であります。

農業は、品目横断的経営安定対策や農地・水・環境保全対策等の新農業政策が実施されます。これに対応した担い手への支援や集落営農組織の立ち上げに取り組んで参ります。

漁業は、ハタハタ大漁の明るい話題もありますが、資源の減少それに燃油高騰、クラゲの発生等厳しい環境下であり、資源管理型漁業、つくり育てる漁業、付加価値産品の開発等に取り組んで参ります。

三つ目の課題は観光の振興であります。

今年には「わか杉団地」が秋田県で開催され、全国から様々な人が訪れます。当町でも正式種目ではありませんが、水

沢山でトレッキングが行われます。それに併せて、県施設「秋田県自然体験活動センター」が7月1日オープンし、改装なったハタハタ館の営業も再開いたします。八峰町を全国に発信する絶好の機会であり、海・山・川の恵まれた自然資源や食を大いに宣伝して、今後の交流人口の拡大に結びつけて参ります。

この他、後期高齢者医療制度等の福祉施策、小学校統合等の教育施策、峰浜地区の防災行政無線等の防災施策、下水道整備等の生活環境施策等々まちづくり計画の着実な前進を図ってまいります。また、自治会別に開催している町長と町政を語る会を今年も継続し、町民と対話しながら町民参加のまちづくりを進めて参ります。

最後になりますが、今年も町民の皆様がご健勝で、ご多幸でありますよう心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。

# 新春 はっぼう書き初め

新春「はっぼう書き初め」と題して、今回は元旦に行われた「田中地区新春綱引大会」、「元日糠森登山」、「白瀑神社の初詣」に来ていた町民のみなさんに新年の目標や願いを書いてもらいました。



2007  
金田司さん、綾子さん、海空(みそら)ちゃん家族(八森第一)「子どもが元気すぎるけど・・・、やっぱり健康が一番！」  
・・・白瀑神社にて



2007  
今井海(かい)さん(水沢小3年)「努力すればきっといいことが・・・ピアノがんばります!」、武田へいやくん(水沢小2年)「いのししのように元気ががんばります!」  
・・・田中地区新春綱引大会にて



2007  
辻崇史くん(八森中3年)「春から高校生になるので、いっしょなことに愛をもってがんばりたい!」  
・・・元日糠森登山にて



2007  
木藤ひかるさん(水沢小6年)「4月からは中学生、友情を大切にしたい!」、武田至織さん(水沢小5年)「今年はバスケで優勝したい!」、佐藤穂奈美さん(水沢小6年)「4月から中学生なので、勉強に部活に前進したい!」  
・・・田中地区新春綱引大会にて



2007  
齊藤金蔵さん(岩館第二)「今年の命題は命!」  
・・・元日糠森登山にて